

RubyWorld Conference 2014 基本計画書

昨年は、2 月にプログラミング言語「Ruby」の開発から 20 年を迎えるとともに、5 年ぶりのメジャーバージョンとして Ruby2.0 がリリースされ、Ruby は新たな時代へと突入し、様々な場面での利用が広がっています。

今年で 6 回目となる「RubyWorld Conference」は、これまで同様に先進的な利用事例や最新の技術動向、開発者教育の状況などの情報を発信することで、「Ruby のエコシステム(生態系)」を知ることができる場として以下のとおり開催いたします。

この実行委員会では、今年の開催において講演内容の一層の充実を図ることで参加者の満足度を向上させ、また、今後も持続可能な運営（開催規模、予算）を検討し、開催いたします。

1 開催の目的

■Ruby 市場、ビジネス利用の拡大

先進的な利用事例や最新の技術動向などの情報を発信を通じて、Ruby 市場、ビジネス利用の拡大を図る。

2 「RubyWorld Conference 2014」の開催

①日時：2014 年 11 月 13 日（木）、14 日（金）

②場所：島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」国際会議場

③主催：RubyWorld Conference 開催実行委員会

（構成団体）（一財）Ruby アソシエーション、島根県、松江市、国立大学法人島根大学、
（独）松江工業高等専門学校、（独）シェトロ松江貿易情報センター、
（公財）しまね産業振興財団、（一社）島根県情報産業協会、しまね OSS 協議会、
経済産業省 中国経済産業局

④今年の開催テーマ：Ruby の「エコシステム」 ～ Ruby の持続可能な生態系 ～

⑤基調講演者：まつもとゆきひろ（（一財）Ruby アソシエーション）

Sarah Allen 氏（米大統領イノベーションフェロー）

⑥その他講演者：プログラム検討委員会において講演者を選定

※一部の講演枠は、昨年に引き続き一般公募の予定

⑦来場者数見込み：両日とも 400 名

⑧入場料：5,000 円／名

※協賛企業様には、協賛種類に応じて 1～10 名様分の参加無料 PASS を進呈いたします。